

# 小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250)38-2234  
FAX (0250)38-5210  
編集 公民館報編集委員会

## ホームステイ & 地域ステイ 皆さん。また帰って来ます!



アンディー君と木伏家のお父さん、お母さん、お婆ちゃん。

矢代田三分一に一人のアメリカ青年がホームステイをしていました。彼がそこで得たことや、彼を受け入れたご家族、そして地域の様子をお伝えします。

### 地域ぐるみの送別会

一月二十二日。矢代田三分一の一の木伏健一さんのお宅で送別会が行われました。

会の主賓は、アメリカの留学生アンディー・サマンスキー君。十八歳。新津高校に在籍し、木伏さん宅にホームステイしてから十一ヶ月になりました。そのアンディー君がアメリカに帰るということで、三分一の方々三十人程が集まりました。

集まってくれた人達にアンディー君は「もう少ししたら、また帰ってきます。待っていてください。」と挨拶。その言葉は別れの意味ではなく、「ちょっとの間、留守にしますが」というふう感じられ

ました。

アンディー君はどのようにして木伏家、そして三分一という地域の中に溶け込んでいったのでしょうか。

### 三分一に来てくれた地域の温かさ

日本に留学するにあたって、どの学校に行くのか、ホームステイ先はどんなところなのか、まったく情報がなかったそうです。三分一に来た時のアンディー君の印象は「いなかだな」だったそうです。しかし、彼にとつて故郷では体験したことのない地域のぬれあいを感ずることになりました。

「僕は都会育ちで、隣の人のこともよくわからないし、ましてや近所で挨拶するなどということはありませんでした。それがここにきてから僕に挨拶してくれる。おはよう。どちらへ?とか。道を歩いていると一声かけてくれる。自分の町ではそんなことはなかった。」

アンディー君がホームステイ先の家庭だけでなく地域にも入り込んでくれたのは、三分一の人たちの温かな声かけがあったからでしょう。彼は地域の人たちのぬれあいを通じて三分一の住人になっていったのです。

### 家族が支えた学校生活

初めのうちはアメリカの学校生活とのギャップに悩んだ

(131)

### ちよこつと一言

### 遠近の風景

今年三十五年ぶり、元旦の護摩堂山早朝登山に参加した。町から此の山をいつも眺めていた。登った時の思い出が多いからである。昔の頂上は草ボウボウで、小須戸町は森のかけで見つけにくかった。夜は灯りも少なく暗い平地だった。今は、ハザ木が無く家も多くなって、遠い街々まで良く見えるし、



アンディー君を囲んで、三分一地域の送別会。

そうです。木伏家のお父さん、お母さんも一緒に悩んでいました。

そして、アンディー君のことを思い「帰ったほうがいいんじゃないか」と言ったこともあったそうです。けんかもしたことがあるそうです。しかし、悩みを共有し、言いたいことが言える。そんななかからアンディー君は木伏家の一員となり、大きな後ろ盾を得たのでしょう。自分から学校生活の中に飛び込んでいく努力をしたそうです。

「プラスチックに入ったり、書道習ったり。そして文化祭でその成果を発表できました。友達も増えていって、カラオケなんかもよくいきました。学校生活も楽しくなりました。」

### 木伏家のひとりごと

アンディー君が学校で、地域で安心して過ごせたのも木伏家の人たちが彼としっかり心を通わせていたからでしょう。

新町三

### 内山和男さん



夜はすばらしい夜景へと変わる。小さいが、美しい豊かな国かと、山では思う。気分よく山から下りて来る。そんな気分が壊されるのは、路肩の空きカンや空きビン、ゴミ袋等を見たときである。山や野も大切な自分の庭先と違って、ゴミのポイ捨ては是非止めてほしい事である。野も山もいつまでも美しい風景であるように願って...

### 「学校開放講座」二十八名修了

今年度で五回目を迎えた、県立新津南高等学校「学校開放講座」が、一月十六日(土)閉校しました。

樋浦校長先生を初め十名の講師陣より専門的な分野を丁寧に講話していただきました。講義内容は、古典・地理・パソコン、そして民謡にいたるまで多種にわたった学科でした。

特に「菩提寺山の自然を散策しよう」ということで、山を歩きながら自然と触れ合い学習する講義もありました。ほとんどの学科が、生活に密着した学習内容を取り入れ、受講生の方々に「別な視点から知識を学ばせてもらって楽しかった。」との感想も聞かれ、先生方の工夫をこらした講義に感激していらっしゃいました。

真剣に学習した受講生のみならず、大変ご苦労様でした。



アンディー君の書。

### 「和」

書道習っていたアンディー君は、掛軸に「和」と書きました。彼が木伏家や三分一の地域で、素直に感じたこと。それがこの言葉だと思います。

### 役場よりお知らせ

#### 「地域振興券」

いよいよ利用開始  
交付日は二月二十七日(土) 十五歳以下の児童の世帯主・老齢福祉年金等受給者・六十五歳以上で市町村民税非課税の方等に、小須戸町内で利用いただける地域振興券(商品券)を左記日程で交付します。

詳しくは、広報こすど二月号外をご覧ください。

交付日	時間・場所
2月27日(土)・28日(日)	9:30から15:30 ・役場1階ロビー
3月1日(月)から 3月12日(金)	9:00から16:30 (土日昼休みを除く) ・役場1階ロビー
3月15日(月)から 8月31日(火)	8:30から17:00 (土日昼休みを除く) ・総務課

#### 生涯学習意識調査

ご協力ありがとうございました

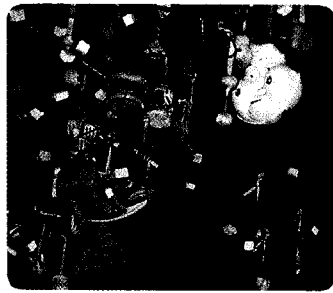
「いつでも」「だれでも」「どこでも」学習できる環境や支援体制を整えるために、生涯学習に係わる意識調査を昨年実施いたしました。

そこでアンケート結果を調査・分析し、特に重要と思われる項目について三月号公民館報でお伝えしたいと思っています。

ご協力いただいた皆様大変ありがとうございました。

小須戸町教育委員会





7日 爾玉  
公民館ロビーに飾りました。小正月行事に親しんでいただけました。



### 1月の ナイショ目録



9日 6年2組  
小須戸小学校の児童が社会科の校外学習。公民館の役割を勉強しました。



15日 6年1組  
小須戸小学校の児童が社会科の校外学習。公民館の役割を勉強しました。

## 小須戸町文化協会よりお知らせ より活動的な団体を目指して

・「小須戸町文化協会だより」  
第三号発行

小須戸町文化協会の一年間の活動報告や各団体の紹介などを中心に構成されています。ぜひ、お読みになってください。

なお、次号からは、会員の募集や催し物のご案内など、情報紙的な要素も合わせていく予定です。

・公民館ロビーでの作品展示  
四月から小須戸町文化協会の美術・文芸作品を公民館ロビーで展示いたします。

くつろぎながら各団体の作品をご覧になってください。下の表は展示する団体の予定表です。期日の詳細はその都度公民館報でお知らせいたします。

小須戸町文化協会は小須戸町の文化を大きく支えている団体として、より一層の努力をしています。

展示月	団体名
一月	俳句同好会 川柳会 俳句教室
二月	写真クラブ
三月	越美会 創風会(書道)
四月	絵画クラブ
五月	墨川会(水墨画)
六月	陶芸クラブ 陶芸サークル 楽楽会
七月	山月会(かな書道)
八月	
九月	
十月	
十一月	
十二月	

※「鳥風クラブ」は未定。

## 催し物ご案内

◎「男の料理教室」伝達講習会  
日時 三月六日(土)  
九時三十分～十二時

◎「寿之会おさらい会」  
日時 三月七日(日)  
午前十時開演  
会場 中央公民館三階ホール  
主催 寿之会  
小須戸町文化協会

◎パンフラワー教室  
パンフラワーとは、粘土で作る花です。自分自身の個性を生かし「パンの花」を作りませんか。  
日時 四月から毎週土曜日  
午後一時～四時  
会場 小須戸町中央公民館  
講師 米山栄子さん(黒崎町) 会費 二千五百円(材料費除く) 定員 十名  
申込先 小須戸町中央公民館

◎中央公民館  
水の翼 小池真理子  
ワイン一杯だけの真実 村上 龍  
時雨の記 中里 恒子  
蝶のかたみ 福島 次郎  
ずんが島漂流記 椎名 誠  
御手洗潔のメロディ 島田 莊司  
風樹の剣 北方 謙三  
聖母の鏡 原田 康子  
一億円もらったら 赤川 次郎  
刺客請負人 森村 誠一  
花散る頃の殺人 乃南 アサ  
夜明けまで一マイル 村山 由佳  
ワイルドフラワー 辻仁成  
花日記 白洲 正子  
一生、遊んで暮らしたい 中場 利一  
話せるヒント 山川 静夫  
夜明けを待ちながら 五木 寛之  
絵と心 平山 郁夫  
六十六の暦 澤地 久枝  
日蝕 平野啓一郎  
熱砂の進軍(上・下) トム・克蘭シー  
彩花へふたたび 山下 京子 他六十六冊

◆三月の相談日  
五日(金)・十二日(金)・十九日(金)・二十六日(金)  
◆受付時間  
午後一時～五時  
◆電話番号  
三八一三三〇〇  
◎お名前は言わなくていいです。  
◎秘密は固く守ります。  
◎どんな小さな悩みごとでも気軽に相談下さい。  
◎子育てのこと・学校生活や友達関係のこと・家族のこと・自分の心のイライラ等なんでも...  
◎小中学生の皆さんも、ちょっと話し相手欲しい時など、ダイヤルを回してみてね。

## 図書だより (新刊案内)

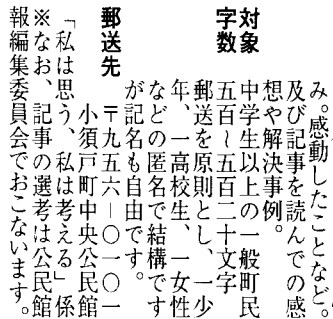
◆ふれあい電話相談  
三月の相談日  
五日(金)・十二日(金)・十九日(金)・二十六日(金)  
◆受付時間  
午後一時～五時  
◆電話番号  
三八一三三〇〇  
◎お名前は言わなくていいです。  
◎秘密は固く守ります。  
◎どんな小さな悩みごとでも気軽に相談下さい。  
◎子育てのこと・学校生活や友達関係のこと・家族のこと・自分の心のイライラ等なんでも...  
◎小中学生の皆さんも、ちょっと話し相手欲しい時など、ダイヤルを回してみてね。

◆ふれあい会館  
◎寂しさの極みの地 曾野 綾子  
◎男と女の本音 諸井 薫  
◎他力 五木 寛之  
◎陽炎の。 藤沢 周  
◎五女夏音 辻 仁成  
◎女房が宇宙を飛んだ 向井万起男  
◎メトロポリタン 阿刀田高  
◎法華経を生きた 石原慎太郎  
◎藍色回廊殺人事件 内田 康夫  
◎贈りもの ダニエル・ステイール 他八冊

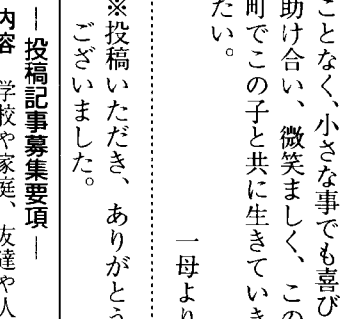
VOICICE & VOICES  
私は思う VOICICE  
私は考える VOICES  
今人生について思うこと  
今、思い、感じていること私の人生まだ五十年かもしれないが、それでも思う。  
特別な子どもを授かったせいかもしれない。さまざま立場の先生方と巡り合い、助けていただき、導いていただきながら、自分の生活でも悩み、苦しみ、暗中模索の毎日であった。  
それでも子どもが一番大切、子どもと共に生きることが私の生き方にプラスになることを信じ、日々の生活に追われていたように思う。  
子どもの成長は遅く夢がある、でも夢を抱くことのできない子どもを授かった時、小さな小さな成長がわずかな光となって見えたときの喜びと感動は今でも忘れられない。悔いのない一日が長い人生にプラスになることを信じた。  
ある講演会で「大きな苦しみには大きな喜びが、小さな苦しみには小さな喜びが」と話されていた。もう十五年も前のように思う。わたしはうなずき目を輝かせて聞いていた。  
相手の立場になって考えれば、すぐにわかること。  
・ 思いやりは人間にとって一番大切なもの。  
・ 人間は感情のある生き物と亡き父はよく話していた。  
・ どんなときでも出合いと別れはあるが、感謝の気持ちだけは忘れないようにしたいと思う。  
支えられて生きる、裏切ることなく、小さな事でも喜び、助け合い、微笑ましく、この町でこの子と共に生きていきたい。  
一母より

普通、正月二日に行われる書初めにちなみ、三学期二日目の一月八日、二時間に渡り校内書初め大会を行いました。昔は正座で墨をすることがから始めるのでしたが今は墨汁を入れて、以上終わり、少し味気無さを感じます。しかし、三年以上百五十人もの児童が物音一つたてず、BGM「春の海」の静かな調べのなかで集中して筆を運ぶ様子から、子どもたちが新年の新たな気持ちを持ってたことを感じ取ることができました。一、二年生は開会式に参加した後、教室で硬筆の書初め

矢代田小学校  
子どもたちの作品は体育館に貼り出しました。良く整っている字、力強い字、ハネ・トメが良い字、どの子もすばらしい作品です。



9日 6年2組  
小須戸小学校の児童が社会科の校外学習。公民館の役割を勉強しました。



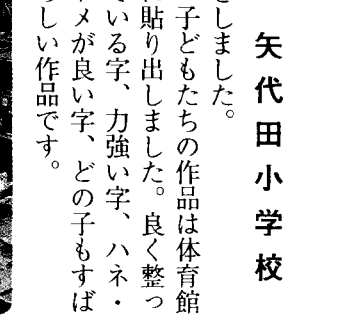
15日 6年1組  
小須戸小学校の児童が社会科の校外学習。公民館の役割を勉強しました。

校内書初め大会  
普通、正月二日に行われる書初めにちなみ、三学期二日目の一月八日、二時間に渡り校内書初め大会を行いました。昔は正座で墨をすることがから始めるのでしたが今は墨汁を入れて、以上終わり、少し味気無さを感じます。しかし、三年以上百五十人もの児童が物音一つたてず、BGM「春の海」の静かな調べのなかで集中して筆を運ぶ様子から、子どもたちが新年の新たな気持ちを持ってたことを感じ取ることができました。一、二年生は開会式に参加した後、教室で硬筆の書初め

矢代田小学校  
子どもたちの作品は体育館に貼り出しました。良く整っている字、力強い字、ハネ・トメが良い字、どの子もすばらしい作品です。



9日 6年2組  
小須戸小学校の児童が社会科の校外学習。公民館の役割を勉強しました。



15日 6年1組  
小須戸小学校の児童が社会科の校外学習。公民館の役割を勉強しました。

柳 町民と共に老いゆく町の医師 高橋ただし  
先生の背なが小さい同級会 小林みのる  
一喝を欲しく教師の後を追う 渡辺信子  
神棚に上げて拜まん宝くじ 河内ヒロ  
孫らもそばで手を合わせせり  
短日のひととき窓に射し入りて 鈴木ハナ  
白きふきの温くも厨辺  
採れたての冬菜洗えばかそかなる 村山浩子  
冷たき音の手よりこぼれる  
賞受けて関東大会出演を 村木リツ  
期に退きぬ老ひのコーラス  
カレンダールの巻くせ伸し年惜しむ 長井武雄  
餅搗きの準備おへたる夜の校舎 馬場綾子  
息災にして四世代家の春 間野えり  
子等去っていつもの小鍋松納む 渡辺信子  
小正月隣りも二階灯りをり 高橋みどり  
海へ深く長く速なり大根畠 吉田素糸  
この男思案ばかりの懐手 中野太浪  
脚腰に鈴の重さ患方道 間野良遊  
笑ふ日も泣く日も白紙初日記 丸山虚秋